



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3177回例会・2017年11月15日

本日のプログラム

会員卓話「ロータリー財団の現状と課題」

永田 正記 ロータリー財団委員長

2017～2018年度国際ロータリーテーマ

『ロータリー:変化をもたらす』

R. I. 会長 イアン H.S.ライズリー

第3176回例会(11月8日)の記録

司会 森本親睦活動副委員長

ロータリーソング 我等の生業

ビジター 北見東RC 中山 大三郎 様

会長挨拶 舟山会長

今日は大変嬉しいご報告がございます。当クラブの太布会員が黄綬褒章を受賞されました。ご功績が認められた結果という事で、我がクラブとしても大変誇りとする所でございます。そこで、内規によりましてお祝いを贈呈したいと思います。

来週の17日ですが「産業クラスター研究会オホーツク」という組織の20周年がございます。オホーツクビールで記念シンポジウムを行い、引き続き記念交流会を行ないます。クラスター研究会は全道に30あります。その中で地方の第1号として勝手にクラスター研究会を立ち上げて、その後帯広・下川と20周年が続きます。その為ひとつ見本にならなくては、という風に張り切っておりますので、もしご都合のつく方がいらっしゃればご参加頂きたいと思っております。

委員会報告

情報集会第5班リーダー 下元会員

11月21日(火)に瀋陽飯店で18時30分より開催致しますので、ご参加をお願い致します。

ニコニコBOX

太布会員～皆様のご指導、ご鞭撻により黄綬褒章の受章となりました。今後も精進して参ります。益々のご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い致します。

プログラム

ゲスト卓話「カーリング情報学 データで見るL S北見の勝因」

北見工業大学 准教授 榎井 文人 様



ご存知のように、L S北見とS C軽井沢が日本代表チームとして平昌オリンピックに出場する事が決まっております。更に北見工業大学男子カーリング部が昨年ユニバーシアードに出場しました。そして、チェアカーリングのフリーグルスも先日優勝しました。この中で北見工業大学出身者がかなりおります。

私の研究はどんな背景をもってやっているかと申しますと、一番近々の話ですと、世界選手権、L S北見が日本代表として女子で初めて金メダルを獲りました。但し現状を見ますと、4強というのがあります。常に君臨するようになるにはまだ課題があると言われており、それを何とかしなければなりません。更に、中国、韓国が強烈なライバルになっていて、今現在行われているアジアパシフィック選手権でも、L S北見は

今こそ行動を！一クラブが元気になるために 地区が元気であるために そして私達の未来の為に 地区ガバナー 成瀬 則之



連敗して3位決定戦にまわるとい状況になっています。これはどういう事かと申しますと、カーリングを始めた歴史は日本の方がかなり長い訳ですが、これまでは経験の差で勝っていた所が、今は中々そうはいかなくなって来て、総体的に地位が脅かされてきて、何らかの対策が必要だというのがカーリング界の共通の認識になっております。カーリングの研究は北海道の北見だから出来るという事がありまして、本州ではやりたくても出来ません。そういった面で北見工大でも何かサポートが出来るのではないかと、カーリングに包括した中で大学の研究を進めていく事によって地域振興にも繋がるのでは、と期待している所もあります。

カーリングという競技は戦術面が非常に重要です。その中には、試合のセオリーや過去のデータ、チームのスタイルというのがあり、その所をきちんと考えていくべきだろうと思ひ、我々が出来る事としては、情報通信技術を使って戦術支援をする事が良いのではないかと、というのが私達の研究を始めた切欠になります。そこで、このような観点で客観的にカーリングを支えている要素を考えてみると、物理的要素、人間的要素、戦術的要素であると思われまます。この中で戦術的要素は、ショットの種類、ショットの精度、エンドプラン等が出て来ます。これに関して見ると、簡単に言うとな「どうすれば勝てるのか」を考える事なのですが、実は学術的な世界では全く研究がありません。ですがとても重要な事なのです。基本的には情報科学技術を使う訳ですから、試合のデータをどんどん電子的に記録していき、それをデータベース化して共有出来るようにし、それを様々な用途に使える環境を作ろうという事です。2015年からこのプロジェクトが始まります。まずはデータの収集や設計する所から始まりまして、更に各部分の技術の開発とテスト、実証実験を行ってどれだけ使えるかを確認して、最終的にカーリングのトップチームを支える事が出来ればという所なのですが、今は丁度実証段階に入っている所です。

そんな中で今日お話ししたいのが、カーリング情報学です。研究体制としては、人口知能や認知科学的アプローチ、画像処理、シミュレーションといった物があります。カーリング情報学とは、簡単に言いますと、試合の情報を蓄えていって、それを自動的に解析する事で、役に立つような知見やデータの整理をしようとする環境を作ろうとする事です。まずスコアブックですが、戦術が非常に大事なスポーツなので当然基本にあります。但し、今までは紙ベースで行っていて、もの凄く細かな情報を付けていかなければなりません。そこでタブレットを使った電子的なスコアブックを用いました。そして現在までに約700試合のデータを収録完了出来まして、ショット数にして約8万ショットです。これ位集まると人工知能で処理するには十分な量という事で、今年人口知能で推論していこうとしている所です。これを更に詳細に分析すると色んな事が分かって来ます。

L S北見の戦い方です。まずどういった事をするかと言うと、データを貯めていって、今年の日本選手権のデータに基づいて代表決定戦を予想してみました。日本選手権のベスト4のチーム中で、L S北見のショット率は決して高くはありません。安定して良かったのが北海道銀行でしたが、4位でした。ですから、ショット率だけで全てが分かる訳ではありませんが、色んな傾向がある訳です。ではどこが違うのか。次にショットの割合です。L S北見はテイクショットがかなり多いです。世界ではリスクをヘッジするという事で、テイクを主体に組み立てていくチームに強豪が多くなっています。ですから、L S北見はそのようなスタイルをとっている物と思われまます。

今後もまだまだ課題は残っておりまして、これからこういったデータを他のライバルの外国チームに対しても同じような分析をして、どういう所を突けばライバルチームは弱いのか、どういうパターンにもっていつはいけないのか、といった所をあぶり出していきたいと思ひます。



出席報告 高野出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メイクアップ	事後メイクアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
確定	11/25	59	7	39	3	2	2	43	78.182%
本日	11/8	59	7	40	3	2	-	42	76.364%

【次回11月15日】 会員卓話 「ライラセミナー報告」

下元 陽司 青少年奉仕委員長

編集後記 いよいよ冬将軍到来。体を冷やさないように心掛けましょう。

(N.N)

2017～2018年度 北見R.C.活動方針

楽しく学び、楽しく実践しよう

ライラとは

14歳～30歳迄の若い人々の為のプログラムで、地区レベルで実施されるセミナーや指導者キャンプ等により、ロータリアンは地元地域社会の若い人々の指導者及び善良な市民としての資質を伸ばす事に力を尽くす機会に恵まれます。

2017～2018年度 北見R.C

●会長/舟山秀太郎

●幹事/岡村 金司

●週報編集/長屋 憲明